

<排尿障害ケアに関する実態調査のお知らせ>

茨城県立医療大学附属病院回復期リハビリテーション病棟 2025 年度上半期に入院された患者様を対象として下記の臨床研究を行います。

この研究は、茨城県立医療大学研究倫理委員会の審査を経て通常の入院診療・ケアで得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究には、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により対象となる研究内容の情報を公開することが必要とされています。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「お問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題 当院回復期リハビリテーション病棟における排尿障害ケアに関する実態調査

研究の資金源その他の研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益その他の研究者等の研究に係る利益相反はありません。

研究目的 回復期リハビリテーション病棟に入院される患者様・ご家族様は、入院時の目標や在宅生活再開の優先的条件として排泄の自立が多く挙げられています。排尿に関する症状や障害のある方への自立支援の実際を調査し評価することで、今後、科学的根拠に基づき、より質の高い排尿自立支援提供に繋げることを目的とします。

研究期間 倫理委員会承認日～2026年12月31日

対象 2025年4月1日～2025年9月30日に当院回復期リハビリテーション病棟に入院した患者様のうち入院時に尿道カテーテルの使用している方や尿をためる（畜尿）、出す（排尿）機能の異常で頻尿、尿漏れ、失禁、排尿困難、尿閉（尿が出ない）などの症状があった方

使用データ カルテより患者様の以下のデータを使用させていただきます。

- ・基本情報（入院期間、年代、性別、主病名、既往歴）
- ・処方薬、泌尿器科受診・治療歴、検査
- ・排尿回数や失禁などの排尿に関わる治療・ケアの記録、
- ・FIM点数、日常生活機能評価など認知面・ADL全般の評価

※詳細な使用データ内容は別添をご参照ください

研究結果 学会や論文での公表の可能性があります。

個人情報の管理について

個人情報の漏洩や個人の特定を防ぐため、氏名はもちろん、年齢は年代とし、個人が特定されるような病院名や特殊な既往歴・手術に関して等、個人を特定する情報を除いた情報のみを使用します。本研究の実施経過及び結果の公表（学会や論文）の際に患者様を特定する情報は一切含まれません。

研究参加について

対象となった方の研究参加は自由意志に基づきます。研究への参加を拒否された場合でも患者様に不利益は生じません。また、拒否しても今後の診療に影響はありません。この研究は、過去の診療録・ケア記録を使用しますので、研究による患者さんへの心身・経済面でのリスクはほぼありませんが不安など心身に何らかの影響がありましたら、医療安全相談室の渡辺明子（029-888-9200（呼出））または、研究責任者にご相談ください。

対象となることを希望されない方は2026年4月15日までに下記連絡先にお申し出ください。ご質問等がございましたら、お気軽にお問合せください。

<お問い合わせ先>

茨城県立医療大学附属病院 看護部

研究責任者 砂原 みどり

住所 〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4733Tel

電話 029-888-9200(代)

e-mail:sunahara@ami.ipu.ac.jp

<別添>

使用する詳細なデータは、以下の通りです。

<患者基本情報>

年代、性別、主病名、既往歴、処方薬、泌尿器科受診の有無とその治療歴

<動作にかかわる能力>

1) FIM(Functional Independence Measure)の運動項目(7項目:セルフケアの「トイレ動作」1項目、排泄コントロール2項目、移乗の「ベッド・椅子・車椅子移乗」、「トイレ移乗」の2項目、移動2項目)、認知項目(5項目:コミュニケーション2項目、社会的認知3項目)の各得点。

大項目	中項目	小項目
運動項目	1) セルフケア	①食事
		②整容
		③清拭(入浴)
		④更衣(上半身)
		⑤更衣(下半身)
		⑥トイレ動作
	2) 排泄コントロール	⑦排尿管理
		⑧排便管理
	3) 移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子
		⑩トイレ
		⑪浴槽・シャワー
	4) 移動	⑫歩行・車椅子
		⑬階段
認知項目	5) コミュニケーション	⑭理解
		⑮表出
	6) 社会的認知	⑯社会的交流
		⑰問題解決
		⑱記憶

得点	
7	完全自立
6	修正自立
5	監視、介助
4	最少介助
3	中等度介助
2	最大介助
1	全介助

※グレー部分は今回のデータ収集には使用しない項目

日常生活機能評価表

2) 日常生活機能評価表に記載のある「床上安静の指示」、「どちらかの手を胸元まで持ち上げられる」、「寝返り」、「起き上がり」、「座位保持」、「移乗」、「移動方法」、「口腔清潔」、「食事摂取」、「衣服の着脱」、「他者への意思の伝達」、「診療・療養上の指示が通じる」、「危険行動」の13項目それぞれの得点と総得点

患者の状況	得点		
	0点	1点	2点
床上安静の指示	なし	あり	
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
寝返り	できる	何かにつかまればできる	できない
起き上がり	できる	できない	
座位保持	できる	支えがあればできる	できない
移乗	できる	見守り・一部介助が必要	できない
移動方法	介助を要しない移動	介助を要する移動(搬送を含む)	
口腔清潔	できる	できない	
食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
他者への意思の伝達	できる	できる時とできない時がある	できない
診療・療養上の指示が通じる	はい	いいえ	
危険行動	ない	ある	
合計得点			点

※ 得点：0～19点
 ※ 得点が低いほど、生活自立度が高い。

<下部尿路症状の有無>

頻尿(トイレに行く回数が多い)

切迫性尿失禁(強い尿意を我慢できない)

腹圧性尿失禁(せき・笑い・歩行など腹圧をかけると漏れる)

溢流性尿失禁(尿が出づらい・、出せない、尿意が曖昧・わからない)

機能性尿失禁(トイレがわからない、トイレまで移動できない、排尿の準備に間に合わず漏れる)

<排尿自立支援の実践に関する以下の記録の有無>

排尿用具の工夫

排尿姿勢の工夫

衣類の工夫

トイレ環境の工夫

移動・排尿意欲への支援(痛みや苦痛への配慮)

生活指導

膀胱訓練

骨盤底筋訓練

間欠導尿

自己導尿/間欠式バルンカテーテル)

排尿誘導

水分摂取方法の調整

リハビリテーション(療法士との検討も含める)

薬物療法

泌尿器科や認定看護師へのコンサルテーション

排尿日誌